

コラム

VOL. 51
「農医福でつなぐ森と緑のガーデンシティ」
豊橋・東三河
2022. 9. 20

未だ紛争が絶えない国と国、ウクライナ VS ロシア、台湾 VS 中国。国境がなくなる日。いつの日か世界の国々が手をつなぎ世界共和国(世界国家)に、まだまだ道のりは遠く険しい。共生社会の実現に向かい、まずはこの地域のことを考えてみたい。

豊橋市を中心とした東三河のこれからのまちづくりは「農医福でつなぐ森と緑のガーデンシティ」を創造したい。人口は70万人からエリア規模で100万人が目標。豊橋市で50万~60万人。他市町で50万人程度。豊橋市の場合、①中核都市

では初めての行政区を実施し、中区、西区、東区、北区、南区、二川区、大清水区に分け、よりきめの細かい住民主体の行政を行う。お互いの行政区が特徴を持ち、競い合いまちを活性化させる関係をつくる。②未来のまちは、デザイン的に美しい街、スマート

な街、恋人と散歩したくなるような街をイメージする。まずは現在の街の景観を活かしながら、中核的役割としてのグリーンによる緑豊かな空間を描いてみたい。樹木は枝を払いすぎらず現在の丸裸状態、幹だけにはしない。街の基調は、無機質から有

機質に、ナチュラルテイストに徹する。将来的には、カラーや屋根など外観の素材に条件を施しても良い。中心市街地は歩道とサイクリングロードを充実して、車の移動を禁止する。夜間早朝時間帯のみ車の移動できるロードを規制緩和する。すなわ

ち中心市街地はテーマパークのイメージをもつと良い。モータープールはその周辺に配置する。(中区) ③住宅には、ガーデニングを奨励したい。年間ガーデニングコンテストを実施し、まち全体の取り組みに変化させていく。すなわち緑豊かな空間の広

がりを住宅地にも展開する。もちろん、環境整備は、そこに生活する住民が担い、ガーデニングを通して地域の人々がつながり、その効果として環境整備が進み、将来的に多くの観光客の誘致にもつながる。(西区、東区、南区) 産業としては、この地域



本風土の維持にある。田原市、豊橋南部の全国一の農業地帯を背景に、現在の農業を維持しながら、④石巻以北で世界の常識オーガニック農業への推進を図る。1軒当たりの農業規模を40haに、そしてスマート農業への展開、空き家、空きビルをコミュニテ

ィの場に生かしていく。将来的には農作物や加工品を豊橋港から輸出産業に成長させる。⑤さらに世界に向けての情報発信と研究のための豊橋農業大学(仮称)の設置と、⑥農業医療福祉のソフトウェア開発拠点「東三河AMWバレー」(仮称)の設置

が考えられる。(南区、北区、大清水区) 医療福祉についても考えてみたい。⑦医療福祉資源を市民のものだけでなく、国内大都市から、また世界からのリハビリセンター、保養地としての機能をつくる。その為には、⑧日本語以外に英

困ったら WAC+

介護職 障害福祉	生産者 支援	子育て 子育て支援	生活職 年金 身元保証
成績 評価 連携	財務管理 生活支援 業務	住宅 不動産 旅行	

WAC+ プラス 福祉の窓口

月曜日～土曜日 10:00～19:00
〒440-0823 豊橋市瓦町通1丁目18
TEL 0532-54-2666 0532-52-4315
FAX 0532-56-0702
S O S 相談 TEL 090-8545-0110

コラム

VOL. 52
「農医福でつなぐ森と緑のガーデンシティII」
アントレプレナー
2022. 10. 20

そんなに遠くない未来には、国の枠はなくなり、都市や地域が、世界につながる。私たちが今使っている一台のパソコンから世界へつながるように、都市や地域が簡単に世界の都市・地域につながるイメージを創造してみると良い。ユーラシア大陸の西と

東にある島国、英国と日本。お互い国王と天皇をもつ国であるが、民族的には、相反する資質をもつと油の関係にある。9月8日にエリザベス2世(96歳)が逝去された。国王としての在位70年は歴代最長でもあった。21歳の女王就任時に、「私の全人生

はたとえそれが長くても一短くても、国民の皆さんと英連邦にささげることを誓う」の言葉を残す。ヨーロッパ、スカンジナビアを源流とするアングロサクソンは、オランダ、英国を経て、英連邦を形成した。その後各国は独立。カナダ、オーストラリア、ニュ

ージーランド、マレーシア、シンガポール、南アメリカなど56カ国がある。そして最大の移民先のアメリカ合衆国。日本との縁も深い。江戸時代のオランダ出島、そして明治政府と英国。太平洋戦争に突入する原因にもなった1921年日英同盟の破棄。そして戦

後1945年以降のアメリカとの蜜月関係が現在も続く。家族人類学者であるエマニュエル・トッドが描く家族型による、アングロサクソンは、絶対的核家族で表現される。特徴1...遺産相続は、必ずしも平等でなく、親の意思で分配率が

決まる。特徴2...結婚した子どもは両親と同居しない。特徴3...兄弟の子ども同士の結婚はない。子どもが自由は大切にするが、平等についてはさほど重視されない。逆に、不平等が当たり前の環境で人が育つため、競争意識が強くなり、集団の中に

巻き込まれて、自己を見失うようなことがなく、どこまでも自己の責任で、わが道を守り、新しい道を開いて行くという独立心にもつながる。それが資本主義を成長させる原動力にもなった。一方、日本人は、父系権威主義的家族に分類され

る。特徴1...財産は一人の息子(長男)だけに引き継がれ、兄弟間には平等な関係。特徴2...一人の息子が両親と同居。特徴3...兄弟の子ども同士の結婚はほとんどない。権威への尊敬が自然に育まれる。そのため、官僚制が発達しやすい。また、秩序と安定

を好む傾向が強く、政権交代は少ない。自民族的になりやすい。子どもの時から、愛情豊かな家庭の中で育てられるため、親の思い通りなる素直な子どもが生まれやすい。その反面、無責任な、相手まかせの性格が養成されてしまう。外見は、他人への気配りが上

手で、世間に対しても従順で、協調性があるように見えるが、この鬱積した鬱積が集団の中で爆発して、付和雷同、旗振り言うままに行動して、「みんなやればこわくない」感覚をもつ。このグループに、ドイツ、スウェーデン、スイスが含まれる。



安全な食材・安心な加工品！料理は自然食品にこだわります！

有機栽培から加工品、調味料まで徹底的にこだわります。WAC 農園産有機栽培の20種類以上の旬の野菜を使用した自然食ランチをお楽しみください。

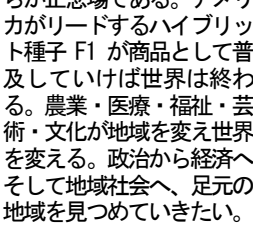
さて、今回のテーマである地域を動かすアントレプレナー

らが正念場である。アメリカがリードするハイブリッド種子F1が商品として普及していけば世界は終わる。農業・医療・福祉・芸術・文化が地域を変え世界を変える。政治から経済へそして地域社会へ、足元の地域を見つめていきたい。

レプレナーをいかに創るか。アメリカシリコンバレーの流れをくむ、中国深圳、インドバンガロール、イスラエル、ドバイ、エストニアなどIT産業、バイオ産業、金融産業などは、もうすでにアングロサクソンがリードして世界を動かしている。

日本のポジショニングは、社会それと地域社会にスポットを当てたい。自分のことよりも利他の精神で、地域社会を再構築するアントレプレナーを育てることが必要となる。地域の社会起業家づくり。東三河の立地は決して悪くない。愛知県は、現在もモノ

づくりでは、日本をリードしている。狭い地域にモノづくりのノウハウの集積があり、ITと連動することで、新しいビジネスが生まれる。農業も、世界の常識オーガニックにいかにかにチャレンジできるか。自然農業のルーツ福岡正信の意思をいかに継承できるか。これか



コラム

VOL. 53
「農医福でつなぐ森と緑のガーデンシティIII」
共生志本主義
2022. 11. 20

9月19日エリザベス女王の国葬が英国ロンドンのウェストミンスター寺院で執り行われた。建物の持つ歴史的重みと伝統、宗教の意味を感じ得るイベントであった。その後、時を経て、ウインザー城へガラス張りの霊柩車に棺を載せ、兵士が歩いて向か

う姿にアナログとデジタルの融合を見た。この葬儀の様子は、全世界41億人(全人口1/2)に中継されていた。時代の読みが浅く、決断力のない日本と英国の違いを改めて感じる機会となった。エセアングロサクソンからの脱皮を望みたい。

経済的指標で見ると1990年のGDPはアメリカ1位で日本が2位、ブロック経済圏が進む現在は、中国1位、2位EU、3位アメリカ、4位インド、5位日本と続く。国際競争力ランキング(IMD)では、2009年17位、上位2位に落ち、2019年30位。現在アジアではシンガポール、香港、台湾、韓国の後2位続く。アングロサクソンと日本

の考え方の特徴を理解した上で、国としては真の自主独立を果たすことが必要不可欠である。また、故稲盛和夫氏の経営論に「人間として正しいことを正しにまことに貫く」という言葉がある。今の社会にとり、国の政治を担う人、経済活動を担う人、社会基

盤をつかさどる人すべてに共通する基本理念ではないだろうか。依存系の国民にとり、強いリーダーシップをとり、一人、未来を開き得る人材は、国レベルでは難しいかもしれない。しかし、一地方としてはトライする価値を感じる。我欲よりも利他

と想うほどの逆境に出会うこともある。逆境は、成長のチャンスである。乗り切って欲しい。子どもの成長を考える時、親は子を甘やかすことなく、ひとりの人間としての成長を喜び、ひとりで生き抜く力をつけることにあると思う。し

の精神で、家族を、地域を、国を、世界を愛するアントレプレナーの育成が必要となる。ある意味NPO的考え方であるが、グローバリズム一辺倒の社会では、地域のお金の循環は起きにくい。逆に地域はどんどん循環するお金の量が減っていく貧しくなっていく。

私たちに、地域で循環するお金の量を増やし、地域で回していくことが、雇用を増やし、お金を地域に増やす結果となる。さらに、いよいよ地域社会資本を生かして、他の地域から、外国から人々がやってきてお金を落とすとももらえる仕組みづくりが必要といえる。



義の考え方にある。世界のしくみは実体経済より金融経済規模が、約倍近くあり、このお金の量が個人株主や投資家に流れ、経済を支えるしくみになっている。その結果、アングロサクソン、アメリカと中国にその恩恵が届き、現在もアメリカと中国の間では、お互いの貿易収支で揉めている。1985年プラザ合意。アメリカは日本との間で、円高にして、このお金の量が個人株主や投資家に流れ、経済を支えるしくみになっている。その結果、アングロサクソン、アメリカと中国にその恩恵が届き、現在もアメリカと中国の間では、お互いの

の貿易収支で揉めている。1985年プラザ合意。アメリカは日本との間で、円高にして、このお金の量が個人株主や投資家に流れ、経済を支えるしくみになっている。その結果、アングロサクソン、アメリカと中国にその恩恵が届き、現在もアメリカと中国の間では、お互いの貿易収支で揉めている。1985年プラザ合意。アメリカは日本との間で、円高にして、このお金の量が個人株主や投資家に流れ、経済を支えるしくみになっている。その結果、アングロサクソン、アメリカと中国にその恩恵が届き、現在もアメリカと中国の間では、お互いの

★編集後記★
人生は苦という試練と楽という楽しみが、人により違いはあるが何度か苦楽を共にするという言葉があるが、まさにその通りと言いたい。また、人は試されているのか

と想うほどの逆境に出会うこともある。逆境は、成長のチャンスである。乗り切って欲しい。子どもの成長を考える時、親は子を甘やかすことなく、ひとりの人間としての成長を喜び、ひとりで生き抜く力をつけることにあると思う。し

し満足もしない。今、私たちがやるべきことは、地域社会を豊かにするための、地域のアントレプレナー(社会と政治と経済に貢献できるリーダー)を生み出すことにある。方法論としては、①行政や地元企業から希望者を募る方法、難

しければ②東三河地域にルーツをもつ人たちに呼びかける。さらに難しければ、③東三河の自然や人々に興味を持ち、新しい時代を先導してみたい。アングロサクソンの日本人を日本はもとより世界に呼びかけ、日本の地域創生パイロット事業に参加を促す。その際の

費用(生活費等個人の給与)は、そのまま旧所属企業等に協力をお願いしたいものだ。日本の高度成長を促した人材教育は、ある面で、標準的な人材育成には成功した。1993年バブル崩壊から30年、私たちの社会は、社会の安定を望み、一定の満足のもとチャレンジ精神を

忘れてしまった。海外で働かせる。結果、コミュニティは崩壊し、多くのチャレンジIT事業を初め多くのアントレプレナーを生み出している。しかし、日本の社会は、相変わらず金太郎飴的人材の、で安易の日々を過ごす。福祉という準市場までも、一般市場として扱

て忘れた。海外で働かせる。結果、コミュニティは崩壊し、多くのチャレンジIT事業を初め多くのアントレプレナーを生み出している。しかし、日本の社会は、相変わらず金太郎飴的人材の、で安易の日々を過ごす。福祉という準市場までも、一般市場として扱

か、日本の社会は、もともとムラとか共生する社会が原型にあり、みんなで育てることもできた時代もあった。その結果、西洋型社会モデルを唱える過程で、じわじわと、私たちは社会のアイデンティティを、人々は世代を介するこ

とで忘れてきているようだ。これからは一人ひとりが根底にある潜在意識を呼び起こし、日本人の考えを社会に活かす時代が来ているように思う。
2022.11.30加藤政実